

1 年次後期・必修

1 単位・30 時間

【概要・目標】

人々の生活の場である地域で展開される看護について、その基本的な考え方や方法の特徴、および看護職が果たす役割について学ぶ。

- 1) 地域における看護活動の理念や目的を理解する。
 - 2) 地域における看護活動の展開の場と対象の特性、展開方法を理解する。
 - 3) 地域で生活する人々の健康を支えるシステムを理解する。
 - 4) 地域において看護職が果たす役割を理解する。
-

【授業内容のスケジュール】

- 1) 生活の場である地域で展開する看護とは (1)
生活とは、生活と健康との関連、生活に即した援助、地域の捉え方
 - 2) 生活の場である地域で展開する看護とは (2)
地域で展開する看護の対象・目的、人々の自立・自己実現の支援、
予防と健康増進
 - 3) 地域における看護活動の歴史
 - 4) ~ 5) 家族を単位とした援助
 - 6) ~ 7) 地域と生活との関連、地域特性のアセスメント
 - 8) ~ 9) 学校での看護活動
 - 10) ~ 11) ヘルスケアシステムの中で機能する看護
 - 12) 保健所・市町村での看護活動の実際
 - 13) ~ 15) 公衆衛生看護の展開方法とその特徴
 - (1) 個を対象とした看護、個別課題から地域課題への視点
 - (2) 集団・グループを対象とした看護
 - (3) 地域づくり活動
-

【評価】

筆記試験 (90%)、出席状況および授業への参加態度など (10%) により評価する。ただし、筆記試験は 6 割以上の得点を必要とする。

【教科書】

宮崎美砂子他編「最新公衆衛生看護学総論第 3 版」日本看護協会出版会

【推薦参考図書】

適宜紹介する

【その他】